

研究課題番号	5-2001
研究課題名	気候変動に伴う黄砂の発生・輸送に関する変動予測とその検出手法に関する研究
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	清水 厚

1. 委員の指摘及び提言概要

国内外での観測、モデル開発、現地での調査を組み立てながら予定通りに進め、黄砂の現状と将来予測について重要な研究成果を獲得し、TEM（日中韓三カ国環境大臣会合）の黄砂問題にも寄与する成果と判断された。しかし、常時監視局の測定結果の活用により提案された黄砂の評価パラメーターについては理論的な説明が足りない部分があると思われたほか、気象研モデル推計結果では国外の他研究機関の結果と比較した議論が足りないように思われた。研究成果論文数が多いことから、研究成果のどの部分に寄与する論文か分かるような工夫もほしかった。全体的には、概ね初期の目標を達成していると評価できるほか、環境行政に直接的に活用できる一定の成果も挙げたと判断される。

2. 採点結果

評価ランク：A